

中島千春選手のアンチドーピング規定違反について

すでに公益財団法人日本アンチドーピング機構（以下 JADA）及び公益社団法人日本ボディビル・フィットネス連盟（以下 JBBF）のホームページで公表されている通り、2022 年 8 月 21 日開催の日本クラス別女子フィジーク選手権大会において、東京ボディビル・フィットネス連盟所属の中島千春選手（個人登録）に日本アンチドーピング規定の違反が認められました。

今回の一件に関しまして弊連盟所属選手はじめ全国の JBBF 登録選手、ファンの皆様、関係先各位には多大なるご心配とご迷惑をおかけしておりますことを、まずは心よりお詫び申し上げます。

中島選手に対しては JADA より検体採取の日から暫定的資格停止期間の開始日までに獲得した個人成績の失効（本件では日本クラス別選手権大会女子フィジーク 163cm 以下級優勝のタイトルおよびメダルの剥奪）、2022 年 9 月 15 日より 3 年間の出場資格停止の処分が公表されておりますが、JBBF が定めるアンチドーピング規定第 6 条 4 項に従い当該選手及び関係者、弊連盟には下記の罰則も適用されます。

- ・ 中島選手は JBBF に対し罰則金 400,000 円が科せられる。
- ・ 中島選手の保証人である近藤一隆理事は JBBF に対し始末書提出と罰則金 50,000 円が科せられる。
- ・ 中島選手の所属連盟である弊連盟は JBBF に対し始末書提出と罰則金 10,000 円が科せられる。

また、保証人となった近藤理事より大会役員・審査役員等の活動を 2 年間自粛したいとの申し出があり、弊連盟はこれを受け入れることとしました。

中島選手は 2022 年 8 月 13 日（土）開催の東京ボディビル選手権大会女子フィジークにおいて優勝しておりますが、規定に従いこの大会の成績は失効されないことを合わせてご報告させていただきます。

弊連盟はこれまで講習会等を通じてアンチドーピングの遵守の徹底に取り組んでまいりましたが、この度の件について連盟としては重く受け止めており、理事・役員が一丸となって強い決意のもと、アンチドーピングの遵守の再徹底をはかります。

ボディビルの歴史の中で、過去にはドーピングとの関係が度々取りざたされてきたことは否定できず、弊連盟においても例外ではなく、過去のアンチドーピング規定違反者が現在理事を務めていることは事実です。

しかしながら、現在の東京ボディビル・フィットネス連盟においてはドーピングを認容している理事は 1 人もおらず、今後もアンチドーピング活動を促進することを固く誓約・宣言いたします。

本件につきまして多大なるご迷惑ご心配をお掛けしておりますことを重ね重ね深くお詫び申し上げます。以上、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

2023 年 3 月 5 日

東京ボディビル・フィットネス連盟
理事長 宮畑 豊
理事一同